

## 編集室から

米国のヨシダソースといえば、ご存知の方も少なくないと思います。何の伝も無く片道切符で渡米。不法滞在に近い暮らしの中から特技の空手を生かして道場を開き、一時は流行ったものの不況で挫折しかけた折、Xmasプレゼントに手づくりのソースを作った処、大好評。これで起業。破天荒な売り方で世間の注目を浴びるも、4度の倒産の危機と、それを友人の好意で乗り越えてこられた吉田会長。その半生はミュージカルにもなっています。

ひよんなご縁から昨年、ヨシダ会長の講演会を聞きに仙台へ。あまりにも感動して「是非、金沢にお越しく下さい」と言ってしまったのがなんと実現。全国チャリティツアーの初回として3/27(金)に開催されることになりました。

ボランティアスタッフとして準備のお手伝いをさせて頂いておりますが、中でも印象深かったのが「草の根」の重要性を説く会長の言葉でした。800人規模の会場を埋めようとするとしても大きな影響力があるキーマンにお願いして、組織的な動員を図ろうとしてしまいましたが、それよりも一人一人が十数人の友人に声を掛けて自発的に集まってくれたコミュニティの方がはるかに魅力的なのだと言われていました。米国のボランティアやNPO活動の研究取材を経験しましたが、Grass-Rootsの真価を教えていただいたような気がしました。

このチャリティツアーは、(公財)がんの子どもを守る会へ1,000万円の寄付を目標にしています。わが国では、小児癌のお子様をもつ親御さんなど、関係が走り回って支援を呼びかける例がほとんどですが、むしろ身近にそのような人が居ない方が関心を持ち、活動することこそ意味があり、米国ではそうなっているそうです。

伺うことが一つ一つあまりにも刺激的で学びの深い機会となっています。深謝です。(は)



のと  
だらぼち

本ニュースにレギュラー執筆していただいている川島さんが「能登だらぼち」を引き受けて改装開店されました。

上京された際、ご利用になってみてください。

のと だらぼち  
03-5537-3078  
17:00~23:00 日曜祝休

中央区銀座8-4-27  
プラザ銀座ビル地下1階  
(銀座外堀通りasics前)

このニュースは、計画に携わる若手の技術者を育てることを目的に発行を始めました。その後、計画という仕事の内容や、普段、計画マンがどのようなことを考えているのかなどに触れて、少しでも業界を知っていただければと考えて編集しています。

2020/02  
(株)アスリック  
<http://www.neting.or.jp/usric>

〒920-1167  
石川県金沢市もりの里1-149-302

電話 076-233-7217  
Fax 076-233-7375  
Email [usric@neting.or.jp](mailto:usric@neting.or.jp)

2020/02  
(株)アスリック  
<http://www.neting.or.jp/usric>

如 月



東京駅にて  
by hama

さて糖尿病の話と言いながら、最初こそインスリンの話でしたが、そのあとは肝臓と脂肪細胞の話ばかりしてきました。しかしそれは、糖尿病の正体を知っていただきたからです。そもそも糖尿病は、インスリンが不足しない限り発症しません。日本人はつい数十年前まで、一型糖尿病など特殊な状況にならない限り、インスリンが不足する事なく一生を終えるのが普通でした。それが乱れたために、これほど糖尿病が増えていっているのです。

逆にインスリンを作る力さえ強ければ、どんなに不健康な生活をしていても糖尿病にはなりません。その代表が、その二十九歳で取り上げた小錦です。よく「辛い糖尿病にはなっていないよ」とか「私はまだ予備群だから大丈夫です」という言葉を聞きます。それなら小錦と同じです。不健康な生活をしていながら糖尿病ではないとしたら、単にインスリンを作る力が強いからです。不健康な生活をインスリンで帳尻合わせすると、何度も言ってきたように脂肪が増えます。余った栄養が、インスリンが足りなければ血液中に血糖という形でダブついて糖尿病になるし、インスリンが充分にあれば血糖が脂肪として蓄えられて肥満や脂肪肝になるだけの違いです。そして糖尿病も肥満も脂肪肝も結末は同じ動脈硬化、つまり脳・心臓・腎臓といった生活の質を支える大切な臓器が徐々に蝕まれていく病気に至るのです。

今から三年半前、この投稿の第一回で「糖尿病に特效薬はない」と書きました。本当にそうなのかを納得していただくため、これからしばらく糖尿病の治療薬について解説してみます。まず最も有名で最も血

### 濱の起業塾 『起業塾 十試行』

ブランドینگ・ターゲットینگ・マーケティングといえば、民間の経済活動専属のアプローチだと想われがちだが、社会事業においてもこれらは同じように重要な要素である。

単純な経済活動では、売れる商品・サービスに仕上げていくためにこれらを遂行する。一方、社会事業においては、もう一段上位の目的・ビジョンがあり、それを実現するためのサービス・商品を的確に伝えるために、この三者をスバイラル状に掘っていく。

民間においても優れたブランドマネージャ、マーケットターは、極めて数が少ない。しかも、業態によって専門性が高いので、なおのこと希少である。そんな専門家に依頼するご縁も資金もない場合、どうすればよいか。そのアプローチの一つが社会実験である。近年、さまざまな領域で社会実験という言葉が耳にすることが増えた。飲食チェーンが店舗を限定して新メニューを提供するのも、社会実験といえるのではないか。

「ビジネスは仮説と検証の繰り返しである」とは元イトーヨーカ堂の鈴木敏文氏の名言であるが、これは社会事業にも全く通ずる。何か新しい試みを行う場合、それが最初から受け入れられるかどうかは、誰にも分からない。立たた仮説を実際に試行し、検証する。良かった／悪かったという単純な結論を出すのではなく、何が受け入れられ

糖降下作用が強く最も歴史が古い、インスリン注射から始めます。これは簡単です。これまで散々述べてきた通り、体内で産生するインスリンが不足した時のみ使うべき薬剤です。インスリンを作ることが出来るのは、体内でただ一つ膵臓にある 細胞だけです。成人では、細胞が数千万〜数億個あって、加齢と共に減っていく強い負担がかかると更に減少が早まります。ネズミでは、様々な治療で増える事も報告されていますが、ヒトでは殆ど増えないようです。図1は、日本で最も古い糖尿病患者として記録に残る藤原道長の記念切手です。あの時代には有りえない、我々と同じほどの驚沢をしたのでしょ

う。六角形はインスリンの結晶です。インスリンは高濃度になると、六個で固まる性質があります。図2はカナダの百ドル紙幣で、中央にインスリンのバイアルが描かれています。インスリンは、一九二一年にカナダのトロント大学でバンティングとベストにより発見されました。今でもカナダ人の誇りになっっているでしょう。当初は一本のバイアルを作るために、山のようなブタの膵臓が必要だったそうです。その翌年には一型糖尿病患者への使用が始まり、二年後には日本へも輸入されました。来年は、インスリン発見百周年です。



出典：Trontrip トロント総合情報サイト

出典：三島市医師会サイト



【プロフィール】

（いがき としお）金沢大学北潟寮で、濱さんの二年後輩でした。濱さんは、とつても怖かった。卒業後は金沢を離れ、現在は温暖な讃岐高松でヌクヌクしています。

何が受け入れられなかったのかを明らかにしていくことで、それ自体がノウハウとなっていく。

先ず立てるべきは「仮説」である。地域の資源は何か。その価値は何処にあるのか。そして、その価値をどんな人に伝えたいのか。そのための効果的な伝え方はどうするか。これがブランドینگ・ターゲットینگ。マーケティングという用語の中身となる。

従って、最初に発掘・検討・推敲されるものは、地域・地域資源の価値である。この連載の「機会・着想」の回にも関係するが、地域・地域資源の可能性をどこに見出し、発揮させるのか。最も芯となるものだ。それを端的に表した結果がシンボルマーク・シンボルカラー・ブランドイメージとなる。単なるデザインの良し悪しで評価されるものではない。

それと並行して、見出された地域・地域資源の価値は、誰にとつての価値なのかを明らかにする必要がある。これがターゲットینگと呼ばれるものである。広報宣伝費が無尽蔵にあるなら話は別だが、そんな目出度い現場はほぼ存在しない。その価値が分かるコアとなる人物像を想定する。その人物はどのようなウオントツを持っているかが探りやすくなる。そうすることで、より効果的な伝え方・アプローチ法が見えてくる。

これらは、単純に一方通行ではなく、三者の仮説を組み合わせて、さらに深掘りをしていく。その過程で重要なコトが仮説の試行・テストマーケティングと、そこから得られるかけがえの無い知見なのだ。



きただより75 弘前大学 地域社会研究会 上村 康之  
『 記録的な雪不足による「冬まつり」等の中止・縮小から考える 』

本来であれば「立春」も近く春を待ちわびる時期であるが、まだまだ雪が多く春など遠いというのが、東北・北陸地方の多雪地域に住む人間の実感ではなからうか。秋田市はもとも積雪量がさほど多くはないが1月下旬で0。これまでも「今年は雪が少ないね」という年はあったが、1月下旬で青森市6cm( 平年の9% )、秋田県内では横手市、北陸地方各地も0、豪雪で知られる新潟県津南町で24cm( 平年の13% )との状況である。

この少雪に「雪かき( 青森市)、雪よせ( 秋田市) が無くて楽でいいね」と挨拶の一言が正月明けあたりから変わってきた。小正月行事や冬まつりができるのが、今年の農業の水不足の心配する声、またクマが冬眠できない、早く目覚めてしまうなど早くも里に下りてきたクマもいるようである。また、白鳥がすでにシベリアに帰ったというニュースも聞いた。このように記録的な暖冬は各地にこれまでにない現象が起きている。

小正月行事や冬まつり、とりわけ雪を多く使用する行事は苦境に立たされている。秋田県では有名な横手市の「かまくらまつり」( 2月15日、16日) は、大きな「かまくら」で子どもたちが甘酒とお餅などをもてなすが、雪が全くないため市の南側に位置する羽後町から雪を輸送するも、大型かまくらはメインの二葉町会場で9基から6基に減少、例年、数千個作ってきたミニかまくらは中止とのことである。横手市の北に隣接する美郷町( みさとちょう) 六郷では、「六郷カマクラ行事」( 1982年 国の重要無形民俗文化財指定、700年続く小正月行事2月11日~15日) の一つに「竹うち」という行事があり、町民が北軍と南軍に分かれ打ち合いがある。3回戦い北軍が勝利すると豊作、南軍が勝利すると米価が上がるとされているが、豊作祈願の祭りである。これまでも竹うち会場の雪上で行われていたが、とても激しい「打ち合い」なので転倒者も続出するなかで雪が全くないと危険ということで中止になった。他地域から雪を運ぶ予算もないという。

この他、雪不足が理由で中止になったものは、藤里町の「白神山地ケツジョリ世界選手権」、大仙市仙北の「払田の柵の冬まつり」、湯沢市雄勝の「雄勝の雪まつり」など町村部や合併前の旧町村部の冬まつりなど多数に及ぶ。

横手盆地の北部、秋田市に隣接する大仙市では市内にある3ヶ所のスキー場が1月末日で今季の営業が終了。3ヶ所のうち2ヶ所は、この冬に1日も営業をしなかったことになった。スキー大会を見ても、北秋田市の薬師山スキー場で開催予定であった「市民スキー大会兼学童スキー大会」が中止となった。

多雪は確かに生活に支障もきたすが、ある意味、多雪地域に住む我々が生きていく上で雪があるということがライフサイクルにもなっているのではないか。小正月行事、冬まつり、スポーツ大会と軒並み中止・縮小の事態となり、今年一年の天候も気になるが、来年以降もどうなるのか、大きくいえば地球温暖化傾向の問題なども切実だ。町村部においては雪不足に加え、人口減少、高齢化により行事を中止しているところもあるだろう。そのようなことを考えながら、雪の無い暖冬の2月をぬくぬくと迎えている。

『 男の子は弱いは本当? 』  
株式会社GARBAGE代表 川島 嘉浩

現在我が家には小学三年生( 9歳) の娘と保育園年少( 4歳) の息子がおります。娘はインフルエンザはもちろん風邪知らずで3年間一度も病欠したことがないのが自慢の元気娘。かたや息子は月に2度は熱を出してちょくちょく保育園を休んでしまう、ちょっと心配な虚弱BOY。これを書いている1/末現在も2020年になって2度めのお休みをしております。昔から、「男の子は体が弱いから、小さいうちは育てるのが大変だ」という話は良く耳にします。そういう私も小さい頃は熱ばかり出していたそうです。父親として心配なので今回は本当に男の子の方が女の子よりも身体が弱いのか? 統計学的・医学的情報を集め整理してみたいと思います。以下うれピア総研の記事を引用させていただきました。

### 1.平均寿命と乳幼児死亡率

まずは成人の日本人の寿命に関する統計についてです。厚生労働省が出した最近の調査では、男性と比較して女性の方が平均寿命は7歳も長いというデータが出ています。なぜ男性は女性よりも寿命が短いのか? 男性は環境の変化への適応能力が女性よりも低く、尚且つ仕事などのストレスに曝される環境に長くいる事が原因と考えられます。また、嗜好品にお酒やたばこを好む人が多くそれが原因となって心血管系疾患や癌に罹りやすくなるからです。次に、乳幼児死亡率に関する統計です。厚生労働省による調査では、女子よりも男子の死亡率が高い傾向にあります。これは男の子は女の子より胎児期にお腹の中で大きくなる傾向があり、出産時に母体の負担やトラブルの原因となることが多いためといわれています。しかし現代の医療は発達しその差は縮まっているのが現状です。また男の子は生まれた時の肺の機能の成熟が女の子と比べて平均的に遅れがちであることや、男の子の方が代謝が活発な事が小さい頃の男の子の「弱さ」につながっていると考えられます。

### 2.女性は染色体レベルで強い!!?

私たちの性別は、染色体によって決定されます。性別を決める染色体には「X染色体」と「Y染色体」という2つの染色体が存在します。X染色体を2本持つと「女性」になります。X染色体とY染色体を1本ずつ持つと「男性」になります。普通染色体とは2個同じものが対になっています。しかし男性の場合「X」と「Y」という違う染色体が組み合わさったものなので、どちらか片方に異常があった場合補完ができないために弱いのです。実際流産する受精卵は男の子の遺伝子が多いといわれています。また女の子と男の子の出生比率は1対1.3です。一説では男の子のほうが病気で命を落とす確率が高いため男の子のほうが多く生まれるといわれています。しかし現代医学では乳幼児期の死亡率も低下してきており明らかな男女差を感じなくなってきたのが現状です。

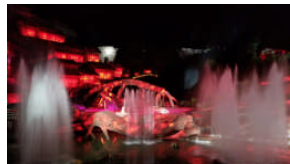
つまりは

・染色体レベルで男はそもそも弱い・産まれてからも男のほうが生命リスクが高い・弱いから多く産まれてバランスをとるようにできている・しかし医療技術の進歩で生命リスクの男女差はなくなりつつある。ということらしい。

となるとこれからは弱っちい男ばかりが女性より1.3倍増えていくということですか。女性しか子供を産めないため単純に乗数的な増え方はしませんが、それでも徐々に世界は男ばかりの社会になるということですね。そういえば中国の20代は圧倒的に男性比率が高いそうです。原因は上記のような自然の摂理の他に一人っ子政策で家を継ぐ男性を優先させた結果のようです。

うちの娘のクラスも30人中女子が10人男子が20人です。協調的でおしゃべりで慈愛を持つ女性の比率が低くなるということは、昨今の自国・現世代ファースト主義が蔓延しつつあるこの世界にとっては悲観すべきことなのかもしれません。

『富士の国から ~大魔神のたび~』中国 張家界への旅(2019.11.14~18)  
静岡県小山町まちづくり専門監 溝口 久



この日の夕食は四川料理とのことだったが、特に激辛料理は無く野菜中心の料理に食が進んだ。お腹は十分に膨れるのだが、腹持ちが悪いので具合がいい。今回の中国の旅は毎食、腹が減った状態で箸をつけるのがいい。ビールはどこでも30元、大瓶ではあるがアルコール度数が低いので、酔うレベルまではいかない。

この日の夜はオプションツアーの「天門狐仙山水ショー」を見に行くことにした。天門山の峰を借景に、大自然そのものを舞台背景としたオープンエアで行われる超大型ミュージカルショーだ。音楽、舞踊、歌曲、奇術、曲芸などを組み合わせ、それらを水、光、音を駆使した舞台装置で盛り上げるステージはスペクタクル満載。狐の娘と人間の若者の切ない恋がテーマになっていて、出演するアクター、シンガーの数は、なんと総勢600人に及ぶ、とてつもないスケールだ。このミュージカルは2009年9月の初演の日から、休むことなく公演され続けていて雨天決行だ。観客も3000人に及ぶ。入場料は400元、6600円程。夜のエンタテインメントの開発もお見事。最後に主人公の二人が空に消えてしまい、どうなっているのか？見応えあり過ぎだ。

翌日は武陵源観光だ。張家界森林公園、索溪谷自然保護区、天子山自然保護区などの地域からなる自然保護区の総称、総面積369平方キロぐらいの広さがある。1992年にユネスコ世界自然遺産に登録され、

2009年公開の映画「アバター」に登場する惑星のモデルになったことで一躍有名になった。武陵源は、その独特の岩の柱が立ち並んでいる景観が有名だ。その柱は珉石の岩で出来ている。高さは200m以上ある。どうしたら、こんな景色になるのだろうか？想像がつかない。何でも3.8億年前は海の底で地殻変動をきっかけに改定の砂岩層が少しずつ隆起してきて、その隆起した砂岩層が長い年月をかけて風や雨によって浸食されて現在の形になったとのこと、気の遠くなるような自然の力が神秘的な景色を生み出している。

今回は張家界森林公園を訪ねた。トロッコに乗りながら、下から岩の列柱を眺めていく、進行方向左手のみが、その景色を楽しめるので右側席に座ると満足に見ることができない。補うために屋根が透明にしてあるが、傷つき、曇りガラスのような様で見えない。天窓の役目をしっかり果たしている車両もあるにはある。この辺のアバウトさ加減が中国だ。渓谷の散策も用意されていた。中国で初めて透明の川を見た。カワセミも、川面に時折光る魚の腹も見える。

その散策路に見つけた怪しい気球、とても人を乗せて上がるような代物ではない。近づくと気球に乗り込んでVR眼鏡をかけてみろと言われた。VR眼鏡、初体験。下を見ると武陵源を上から見ることになる。画面は見る方向に景色があっているからリアルだ。下を見るとまさに気球の上から見ている感がある。高所恐怖症の人なら地上にいるにもかかわらず足がすくむと思う。これは、面白い。

富士山五合目や道の駅すばしりにこの気球もどきを置いて、富士山頂上を上から眺めることができる映像を見せるようにしたら相当に受けそうだ。7,8分で500円、気球に4人は乗れるから、結構いい商売になるのでは、。(つづく)

